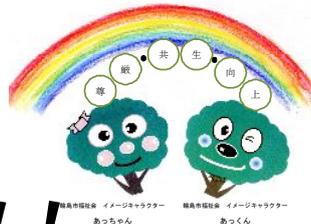


〒929-2378 輪島市三井町小泉上野2番地 ☎(0768)26-1661 特別養護老人ホーム、短期入所センター、デイサービスセンター、訪問介護センター、居宅介護支援事務所、在宅介護支援センター、配食サービス、輪島市介護予防・日常生活支援総合事業通所相当サービス、輪島市及び穴水町介護予防・日常生活支援総合事業、通所型サービス

〒928-0062 輪島市堀町9字25番地 ☎(0768)23-4165 認知症対応型通所介護、輪島市介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスA、訪問入浴介護センター、居宅介護支援事務所、在宅介護支援センター

■地域支援事業（自主事業） しせつの窓口（輪島市宅田町）、健康づくり教室、懐かしの映画上映会、グリーンカフェ、認知症に関する相談など

# 広報 あての木園



## ■輪島市福祉フェアを夏と秋に開催します！！

（はじめに）

社会福祉法人には、福祉サービスの供給確保の中心的な役割を果たすだけでなく、地域社会の中で生活していくために必要な福祉サービスを受けることができない人がないように、関係者との連携の中で課題を発見し、地域におけるさまざまなニーズにきめ細かく柔軟に対応していくことが求められています。

（社会福祉法人輪島市福祉フェアのねらい）

自ら持つ人材や施設・設備などの資源を活用し、高齢者・障がい者・子どもなど地域住民の頼りとなる地域の拠点の一つとなり、誰もが住み慣れた地域でできる限り健康で安心して生活できるような「つながり」「場」の提供を図ります。

### □昨年行われた輪島市福祉フェアの様子

場所：特別養護老人ホームあての木園内(会議室、喫茶コーナー、大食堂) 輪島市三井町



### その他

- 無料相談コーナー（介護保険サービス利用相談、食事に関する相談、介護に関する相談、健康や医療に関する相談、認知症に関する相談、口腔ケア相談など）
- 福祉機器展示・操作説明
- 施設内の見学

## 役員について

評議員  
(10名)

杉窪 厚子、曾又 博史、細川 正雄、池端 政義、中村 悦子、橋爪 美土里、橋本 幸男、田中 昭二、山岸 順子、七尾 幸子  
(任期：令和2年度の会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで)

理事  
(8名)

中山 勝(理事長)、前田 裕子、上畠 忠雄、濱中 勝利、上野 吉邦、今井 善弘、田尻 佳代子、谷口 広之  
(任期：令和2年度の会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで)

監事  
(2名)

向 憲龍、古坊 忠善  
(任期：令和2年度の会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで)

## グリーンカフェのご案内

認知症発症者等及び家族等の介護負担を軽減するとともに、住み慣れた地域で尊厳のある自分らしい暮らしを続けることができる地域づくりを目的にグリーンカフェを開催いたします。

具体的な活動は以下のとおりです。

- ・認知症発症者等にとって、自分の役割がある活動。
- ・認知症発症者等及び家族等が社会と繋がることのできる活動
- ・認知症発症者等及び家族等にとって、自分の悩みを知ってもらえ、かつ、それを受け入れてもらえる意識できる活動
- ・認知症カフェにおいて、認知症発症者等、家族等及び市民その他の認知症カフェの関係者が参加して話し合うことのできる活動
- ・認知症発症者等、家族等、市民その他の認知症カフェの関係者が、認知症の進行を遅らせ、又は予防するプログラムに参加でき、交流できる活動
- ・どんな人も自分のペースに合わせて参加できる活動

### ■活動予定日は

- 輪島市三井町  
● 4月17日(内屋集会場)
- 5月15日(本江集会場)
- 6月19日(諏訪神社)
- 7月17日(仁行集会場)
- 8月21日(正力プラザ)
- 9月25日(三井公民館)
- 10月16日(市ノ坂集会場)
- 11月20日(内屋集会場)
- 12月18日(本江集会場)
- 1月15日(諏訪神社)
- 2月19日(仁行集会場)
- 3月18日(正力プラザ)

### 輪島市堀町(あての木園ふげしデイサービスセンター内)

- ◆ 4月11日・25日
- ◆ 5月9日・23日
- ◆ 6月13日・27日
- ◆ 7月11日・25日
- ◆ 8月8日・22日
- ◆ 9月12日・26日
- ◆ 10月10日・24日
- ◆ 11月14日・28日
- ◆ 12月12日・26日
- ◆ 1月9日・23日
- ◆ 2月13日・27日
- ◆ 3月12日・26日



■ 認知症に関する相談などありましたら、遠慮なくご相談下さい。  
■ 認知症に関する専門知識や資格を持った職員が対応いたします。  
「あての木園ふげしデイサービスセンター」  
23-4165

●●● 「問合せ先」 ●●●

26-1788

◆◆◆ 「問合せ先」 ◆◆◆

23-4165

# ■しせつの窓口のご案内 Since 2015～

全国的に急速な少子高齢化による人口減少、社会環境の変化に伴い子育て・介護・医療の社会保障制度のあり方を今後どのように取り組んでいくべきかが、大きな課題として検討されております。

輪島市においては少子高齢化が顕著であり、地域住民は輪島市が存続できるかどうかまで心配している状況です。輪島市民が安心して生活が送れるように、適切に子育て関係・障害者（児）関係・介護関係等の施設の理解をしてもらうことが、地域福祉の向上につながるものと考えています。そのために『しせつの窓口』を開設いたします。

■相談窓口は、輪島市宅田町 ショッピングセンター『ファミィ』内です。

■相談時間は、午前の部 10:00～12:00、午後の部 13:30～15:30 となっております。



■平成30年度 協力法人（順不同）

医療法人社団輪生会、有限会社 COM、社会福祉法人寿福祉会、社会福祉法人弘和会、社会福祉法人町野町福祉会、社会福祉法人健悠福祉会、社会福祉法人輪島市社会福祉協議会、社会福祉法人佛子園、社会福祉法人白字会、社会福祉法人門前町福祉会、公益社団法人石川勤労者医療協会、日本調剤株式会社

福祉・介護・医療の専門職の皆さんが、困りごと相談の対応を行います。お気軽にお越しください。

**「しせつの窓口」も令和元年8月1日で4周年を迎えます**

## ■平成30年度 事業報告

### 1) 法人関係

#### 1. 基本的事項

法人理念は「尊厳」「共生」「向上」

「尊厳」では、入居者の生活環境の整備として昭和61年建設の居室、平成3年建設の居室（9ヶ所）の改修を行いました。また、最期までその人らしい人生が送れるような看取りケアに取り組みました。

「共生」では、輪島市福祉会の理解を深めてもらい、施設の理解を深めてもらうため「輪島市福祉会フェア」を2回開催しました。能登北部の2市2町法人間連携や、輪島市内の社会福祉法人の連携として地区民生委員児童委員協議会との懇談会により地域の課題についての話し合いに取り組みました。

「向上」では、居宅支援事務所を堀町に開設し、サービス提供の効率化と車輛での移動時間の短縮に取り組みました。また、穴水町においても訪問介護相当サービスが提供できるように穴水町介護予防・日常生活支援総合事業の指定を受けました。

「人材確保」として、社会人で介護職員に2名、介護支援専門員1名、介護福祉士1名、臨時看護師1名、新卒者で高卒1名の合計6名採用できました。退職者は介護福祉士1名、介護職員2名の合計3名でした。

「労務管理」として、男女雇用機会均等法に基づく報告の徴収、労働保険料算定基礎調査の対応、年次有給休暇の取得50%を目指し、働きやすい職場環境等に取り組みました。

#### 2. 理事会・評議員会の開催状況

##### 【理事会】

第1回 理事会	平成30年6月8日（金曜日）	（理事総数8名中、7名出席）	（監事総数2名中、2名出席）
第2回 理事会	平成30年10月2日（金曜日）	（理事総数8名中、8名出席）	（監事総数2名中、1名出席）
第3回 理事会	平成31年1月9日（水曜日）	（理事総数8名中、7名出席）	（監事総数2名中、2名出席）
第4回 理事会	平成31年3月8日（火曜日）	（理事総数8名中、8名出席）	（監事総数2名中、2名出席）

##### 【評議員会】

定時評議員会	平成30年6月21日（木曜日）	（評議員総数10名中、10名出席）	（理事1名、監事1名出席）
第2回 評議員会	平成31年1月22日（水曜日）	（評議員総数10名中、8名出席）	（理事2名出席）
第3回 評議員会	平成31年3月22日（金曜日）	（評議員総数10名中、9名出席）	（理事2名出席）

#### 3. 法人監査

平成29年度 決算監査 平成30年5月29日（火曜日）

#### 4. 財務運営

独立行政法人福祉医療機構より借入の、施設整備資金平成30年度償還元利金11,200,000円は、県の補助金及び介護報酬収入等を充当して予定どおり償還しました。また、会計区分の見直しを図り、事業区分を社会福祉事業と公益事業の2つとしました。

### 2) サービス提供状況

#### 1. 施設サービス関係（特別養護老人ホーム 入所定員 100名）

平成30年度中の延べ利用者数は36,095人、一日平均98.89人であり、併設事業の短期入所と

あわせ延べ入所者数は7,452人、一日平均119.31人でありました。(※2019年度は特養及び短期の介護職員及び看護職員の常勤換算合計は39.77人以上の配置が必要となります。)また、特列入所として2ケースの対応を行いました。

前年度と比べ、特養の延べ入所者数は304人増、併設事業の短期入所とあわせた延べ人数は134人増となりました。

区分	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
特 養	35,206	35,118	35,853	35,435	35,781	35,543	35,791	36,095
短期入所	7,242	7,195	7,532	7,649	7,349	7,527	7,622	7,452
合 計	72,448	42,313	43,385	43,084	43,130	43,070	43,413	43,547

■必要な方に適切かつ早期に入所してもらうための取り組み

石川県指定介護老人福祉施設入所指針に基づいて入所を判定しています。また、必要時に特列入所の対応も行いました。毎月の入居判定委員会は第三者委員に参加してもらっています。(※人数の多い所に網かけをしています)

区分	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	合計	割合
要介護1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.77
要介護2	0	1	0	1	1	0	2	3	8	3.08
要介護3	6	6	1	1	1	1	0	2	18	6.92
要介護4	20	13	4	9	14	22	18	9	109	41.92
要介護5	10	14	12	20	16	12	16	23	123	47.31
合計	36	34	17	33	32	35	36	37	260	100

・入所申込から入所までの期間について(※人数の多い所に網かけをしています)

期間	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	合計
1ヶ月未満	14	10	3	8	12	15	10	10	82
1ヶ月以上3ヶ月未満	12	17	5	4	7	10	14	17	86
3ヶ月以上6ヶ月未満	6	6	4	10	3	6	9	6	50
6ヶ月以上1年未満	3	0	5	8	4	2	3	4	29
1年以上	1	1	0	3	6	2	0	0	13
合計	36	34	17	33	32	35	36	37	260

■自立支援介護の取り組み

水分ケア(1日に1,500mlの水分摂取)、排せつケア(座位排便に取り組む)、運動(歩行)、食事(普通食が食べられるように)ケアに取り組みました。平成25年度より取り組んでいる自立支援介護の実践を一日平均入所者数の推移からその効果を報告します。(※平均97人以上に網かけをしてあります)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22	2,933	3,032	2,949	3,029	3,023	2,904	2,962	2,791	2,999	2,956	2,699	3,019	35,296
平均	97.77	97.81	98.30	97.71	97.52	96.80	95.55	93.03	96.74	95.35	96.39	97.39	96.70
H23	2,936	2,991	2,891	2,980	2,933	2,942	3,063	2,923	2,975	2,908	2,718	2,946	35,206
平均	97.87	96.48	96.37	96.13	94.61	98.07	98.81	97.43	95.97	93.81	93.72	95.03	96.19
H24	2,860	2,993	2,910	3,027	3,033	2,843	2,935	2,893	2,978	3,031	2,715	2,900	35,118
平均	95.33	96.55	97.00	97.65	97.84	94.77	94.68	96.43	96.06	97.77	96.96	93.55	96.21
H25	2,937	2,981	2,921	3,019	3,044	2,985	3,076	2,988	3,058	3,024	2,748	3,072	35,853
平均	97.90	96.16	97.37	97.39	98.19	99.50	99.23	99.60	98.65	97.55	98.14	99.10	98.23
H26	2,986	3,003	2,931	3,006	3,047	2,962	3,008	2,849	2,985	2,983	2,731	2,944	35,435
平均	99.53	96.87	97.70	96.97	98.29	98.73	97.03	94.97	96.29	96.23	97.54	94.97	97.08
H27	2,928	3,042	2,945	3,059	3,056	2,941	3,036	2,898	3,040	3,042	2,792	3,002	35,781
平均	97.60	98.13	98.17	98.68	98.58	98.03	97.94	96.60	98.06	98.13	96.28	96.84	97.76
H28	2,891	2,985	2,920	3,033	2,812	2,951	3,067	2,946	3,078	3,050	2,776	3,034	35,543
平均	96.37	96.29	97.33	97.84	90.71	98.37	98.94	98.20	99.29	98.39	99.14	97.87	97.38
H29	2,863	3,001	2,950	3,051	3,064	2,919	3,012	2,958	3,066	3,033	2,786	3,088	35,791
平均	95.43	96.81	98.33	98.42	98.84	97.30	97.16	98.60	98.90	97.84	99.50	99.61	98.06
H30	2,978	3,074	2,962	3,064	3,086	2,984	3,050	3,045	3,029	2,976	2,765	3,082	36,095
平均	99.27	99.16	98.73	98.84	99.55	99.47	98.39	101.50	97.71	96.00	98.75	99.42	98.89

■看取りケアの取り組みについて

死亡退所された方が34人(病院での死亡が4名、施設内の死亡が30名)のうち21人の方に看取りケアが提供できました。また、看取りケアの指針の見直しを9月に行い、看取りケアは特別なものではなく、

日常的ケアの延長として本人の意思を尊重したケアとして取り組むこととしました。

年度	死亡退所者	左の内訳			看取り介護	施設での死亡割合(%)	看取り介護の割合(%)
		病院	施設	その他			
平成22年	18	9	9	0	—	50.00	0.00
平成23年	32	12	19	1(自宅)	—	59.38	0.00
平成24年	28	8	20	0	—	71.43	0.00
平成25年	15	1	14	0	9	93.33	64.28
平成26年	30	4	26	0	18	86.67	69.23
平成27年	24	3	21	0	13	87.50	61.90
平成28年	31	2	29	0	13	93.55	44.83
平成29年	30	3	27	0	10	90.00	37.04
平成30年	34	4	30	0	21	88.24	70.00

## 2. 在宅サービス関係

訪問介護、通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業に完全移行となりました。

地域での自立した生活が送れるよう支援しました。

### ■短期入所(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業) 定員 20名

延べ利用者数は7,452人、一日平均20.4人、送迎回数は1,282回でした。前年度と比べ、利用者数170人減、送迎回数は77回減でした。

年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
短期	7,242	7,195	7,532	7,687	7,349	7,527	7,622	7,452
送迎	1,244	1,419	1,168	1,168	1,394	1,573	1,359	1,282

### ■訪問介護(介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業)

利用者増及び訪問件数の増により、正職員を平成29年度の4名から平成30年度は6名体制としました。利用者数は537人で介護予防・日常生活支援総合事業(訪問介護相当サービス)は108人、介護保険は429人で、訪問回数は8,741回でした。延べ利用者数は5,869人でした。

前年度と比べ、介護保険は27人増、介護予防・日常生活支援総合事業(訪問介護相当サービス)は58人増でした。訪問回数は190回増でした。

年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
介護保険	303	213	217	288	302	361	402	429
介護予防	68	49	22	35	62	68	57	—
総合支援事業	—	—	—	—	—	—	50	108
訪問回数	5,229	2,560	2,312	4,477	6,487	8,401	8,551	8,741

※介護予防・日常生活支援総合事業に移行したため、介護予防訪問介護が総合支援事業となっています。

### ■通所介護(通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業) 定員 30名

介護保険の延べ利用者数は5,068人、介護予防・日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス)の延べ利用者数は912人でした。一日平均の利用者数は19.42人でした。

前年度と比べ、介護保険は308人増、介護予防・日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス)が327人増でした。

#### 介護保険対象者(要介護1・2・3・4・5)

年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
利用者数	5,235	4,792	4,643	5,020	4,625	4,880	4,760	5,068

#### 介護予防対象者(要支援1・2)

年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
利用者数	1,812	1,547	1,691	1,223	1,300	1,215	422	—

#### 介護予防・日常生活支援総合事業(※通所介護相当サービス) 延人数

年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
利用者数	—	—	—	—	—	—	585	912

#### 合計(介護保険対象者と介護予防・日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス)の合計) 延人数

年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
利用者数	7,047	6,339	6,334	6,243	5,925	6,095	5,767	5,980
一日平均	21.23	19.21	19.37	20.27	19.11	19.72	18.79	19.42

※介護予防・日常生活支援総合事業に移行したため、介護予防通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業となっています。

### ■認知症対応型通所介護(認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護)定員 12名

延べ利用者数は介護保険で2,317人、介護予防で400人でした。

前年度と比べ、延べ利用者数は介護保険で16人減、介護予防で57人増、延べ利用人数は41人増でした。一日平均の利用者数は10.70人でした。

介護保険対象者(要介護1・2・3・4・5)

年度	平成 28	平成 29	平成 30
利用者数	1,054	2,333	2,317

介護予防対象者(要支援1・2)

年度	平成 28	平成 29	平成 30
利用者数	217	343	400

合計(介護保険対象者と介護予防対象者の合計)

年度	平成 28	平成 29	平成 30
利用者数	1,271	2,676	2,717
一日平均	7.75	10.58	10.70



■訪問入浴介護(訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護・輪島市訪問入浴サービス事業)

延べ利用者数は 輪島市訪問入浴サービス事業(在宅身体障害者への入浴サービス)は12人、介護予防は2人、介護保険は226人であり、延べ利用回数は輪島市訪問入浴サービス事業では52回、介護予防は8回、介護保険は865回でした。一日平均の利用者数は3.59人でした。

前年度と比べ、延べ利用者数は36人増、延べ利用回数は260回増でした。

年度	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
延利用者数	270	190	174	161	210	187	204	240
介護保険	931	656	630	603	833	624	607	865
介護予防	0	0	0	0	0	0	0	8
輪島市委託	0	0	0	0	0	44	58	52
合 計	931	656	630	603	833	668	665	925
備 考	三井町	三井町	三井町	三井町	三井町	三井町	堀町	堀町

■居宅介護支援

あての木園ふげし居宅介護支援事務所を5月に開設し、居宅支援事務所を2箇所としました。延べ利用者数は介護保険で1,294人、介護予防で267人であり、要介護認定訪問調査実施件数は158件でした。前年度と比べ、介護保険は129人増、介護予防は73人減でした。要介護認定訪問調査実施件数は50件増でした。

年度	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
介護保険	1,127	1,026	999	900	946	1,051	1,165	1,294
介護予防	244	220	259	256	344	361	340	267
訪問調査	105	77	90	109	99	110	108	158

3. 地域支援

法人独自の地域支援(総合相談事業、専門職種の講師派遣、認知症カフェ等)を開催しました。

■在宅介護支援

自宅で暮らしている高齢者や援護が必要となる恐れのある高齢者、その家族の方等からの相談に応じました。また、介護等に関するニーズに対応した各種の保健、福祉サービス(介護保険を含む)が、総合的に受けられるよう市町村等関係行政機関、サービス実施機関と連携しました。

輪島市地域包括支援センターへの報告件数では三井地区で268件、鳳至・鶴巣地区で174件、合計442件でした。前年度と比べ、相談件数は4件増でした。

年度	相談件数			合計
平成 25				9
平成 26				6
地区	三井・河原田	三井	鳳至・鶴巣	合計
平成 27	253			253
平成 28		266	21	287
平成 29		291	147	438
平成 30		268	174	442

■地域支援事業(輪島市委託事業)

○配食サービス

5,712食を配食しました。毎日(昼食・夕食)実施しておりますので、一日平均15.65食でした。前年度と比べ370食増となりました。

年度	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
輪島市指定	758	1,955	4,591	4,820	5,342	5,674

法人独自	67	82	86	40	0	38
合計	825	2,037	4,677	4,860	5,342	5,712
営業日	335	365	366	365	365	365
一日平均	2.46	5.58	12.78	13.32	14.64	15.65

○介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービスA)

通所型サービスAの延べ利用者数は1,077人で、法人独自の元気デイサービスの利用者413人を含めると1,490人でした。昨年度と比較して、519人増(通所サービスAは261人増、法人独自は258人増)でした。

年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
介護予防普及啓発	—	—	—	—	44	(三)0 (堀)0	通所型サービスA	通所型サービスA
通所型介護予防	219	251	233	293	206	(三)260 (堀)167	816	1,077
法人独自の通所型	—	—	—	—	—	—	155	413
計	219	251	233	293	250	427	971	1,490

○介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービスC)

通所型サービスCの延べ利用者数は235人で、昨年度と比較して34人減でした。

年度	平成27	平成28	平成29	平成30
筋力向上トレーニング	95	268	通所型サービスC 269	通所型サービスC 235

■地域支援事業(法人独自事業) (健康づくり教室、懐かしのテレビドラマや映画観賞会、配食サービス、しせつの窓口、認知症カフェ)

健康づくり教室と懐かしのテレビドラマや映画観賞会については、介護予防と交流の場づくりの一環として取り組んでいます。

健康づくり教室(地域の自主的な介護予防活動支援も含む)を73回開催、懐かしのテレビドラマや映画観賞会は22回開催できました。

区分	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
健康づくり教室	3	3	34	47	66	73
懐かしの映画上映会	4	4	10	11	30	22
実施回数	5	4	43	58	96	95

○しせつの窓口(法人独自事業 無料総合相談)

輪島市内のショッピングセンター「ファミィ」内において、専門職による無料総合相談を実施しています。開設日数は212日で、来客された方が延べ216名、相談件数23件でした。

平成30年度 活動集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
活動日	19	16	19	18	16	19	18	20	17	19	16	15	212
来客数	24	22	21	24	23	14	13	17	22	10	15	11	216
相談件数	1	1	2	1	3	0	4	1	3	3	4	0	23

○グリーンカフェ(認知症カフェ)

認知症の方やその家族をはじめ認知症に関心のある方が集まり、情報交換や交流をする中で認知症と向き合うための場で、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場を支援しています。堀町で24回(延べ参加者321人)、三井町で11回(延べ参加者106人)、合計35回(延べ参加者427人)実施しました。

○配食サービス

法人独自の配食サービスは38食提供しました。

○除雪応援隊

除雪応援隊の出動は0回でした。

○施設の開放

毎週金曜日、なごみ会の皆さんに会議室をいきいき100歳体操や会員同士の交流の場として開放しました。また、7月21日(土曜日)と11月17日(土曜日)に地域住民を対象とした施設開放を行った輪島市福祉フェアを開催し、多くの方に来園いただきました。

○社会福祉法人間連携のための懇談会等に積極的に参加(地域における公益的な取り組みを行うために)

- ・南志見地区民生委員児童委員協議会との懇談会(2月4日)
- ・能登北部地域共生フォーラム(2月6日)
- ・町野地区民生委員児童委員協議会との懇談会(2月7日)

- ・三井地区民生委員児童委員協議会との懇談会（3月12日）

○その他

- ・第35回 事業所防火訓練大会にて敢闘賞受賞（9月28日）介護職員、介護福祉士、事務員兼介護職員
- ・平成30年度 介護技能グランプリにて技能賞受賞（10月13日）介護福祉士
- ・介護老人福祉施設における適切な費用構造に関する調査協力(全国老人福祉施設協議会)  
調査期間 平成30年10月15日から10月18日（4日間）
- ・職業人講話等に職員派遣  
石川県立田鶴浜高等学校に介護福祉士派遣（5月）  
輪島市立輪島中学校に管理栄養士派遣（1月）
- ・歯と口腔の健康づくり推進会議に歯科衛生士派遣  
歯科衛生士を派遣（11月8日）

# 平成30年度 決算報告

貸借対照表（平成31年3月31日現在）

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	313,726,910	293,124,513	20,602,397	流動負債	32,149,934	31,838,209	311,725
現金預金	210,238,112	195,757,604	14,480,508	事業未払金	9,249,666	9,627,253	-377,587
事業未収金	103,151,279	97,158,724	5,992,555	その他の未払金	9,479,323	9,169,037	310,286
立替金	337,519	208,185	129,334	預り金	4,135,039	3,621,006	514,033
				職員預り金	9,285,906	9,420,913	-135,007
固定資産	1,383,693,589	1,448,981,460	-65,287,871	固定負債	11,200,000	22,400,000	-11,200,000
基本財産	640,410,269	675,316,252	-34,905,983	設備資金借入金	11,200,000	22,400,000	-11,200,000
土地	0	0	0				
建物	640,410,269	675,316,252	-34,905,983	負債の部合計	43,349,934	54,238,209	-10,888,275
その他の固定資産	743,283,320	773,665,208	-30,381,888				
土地	0	0	0	純資産の部			
建物	303,476,302	306,352,920	-2,876,618	基本金	215,509,000	215,509,000	0
構築物	1,141,001	476,501	664,500	第一号基本金	215,509,000	215,509,000	0
機械及び装置	45,463,849	52,313,402	-6,849,553	第二号基本金	0	0	0
車両運搬具	15,290,118	17,157,578	-1,867,460	第三号基本金	0	0	0
器具及び備品	32,879,350	36,435,707	-3,556,357	国庫補助金等特別積立金	356,719,893	381,399,518	-24,679,625
ソフトウェア	3,062,700	3,959,100	-896,400	その他の積立金	341,970,000	356,970,000	-15,000,000
施設拡充等積立資産	333,970,000	348,970,000	-15,000,000	施設拡充等積立資産	333,970,000	348,970,000	-15,000,000
輪島市福祉会基金	8,000,000	8,000,000	0	輪島市福祉会基金	8,000,000	8,000,000	0
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
				次期繰越活動増減差額	739,871,672	733,989,246	5,882,426
				（うち当期活動増減差額）	-9,117,574	-26,244,868	17,127,294
				純資産の部合計	1,654,070,565	1,687,867,764	-33,797,199
資産の部合計	1,697,420,499	1,742,105,973	-44,685,474	負債及び純資産の部合計	1,697,420,499	1,742,105,973	-44,685,474

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・保有無し

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品等 — 定額法

(3) 引当金の計上基準

・引当金の計上無し

2. 重要な会計方針

平成23年7月27日改正 社会福祉法人会計基準による

3. 採用する退職給付制度

独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

(1) 社会福祉法人 輪島市福社会 財務諸表

(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の4様式)

(2) 拠点区分事業活動明細書 (第2号の3様式)

- ア 特別養護老人ホームあての木園
- イ あての木園短期入所センター
- ウ あての木園デイサービスセンター
- エ あての木園訪問介護センター
- オ あての木園訪問入浴介護センター
- カ あての木園居宅介護支援事務所
- キ あての木園配食サービス
- ク 認知症対応型デイサービス

(3) 拠点区分資金収支明細書は、第1号の3様式

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地				
建物	675,316,252		34,905,983	640,410,269
定期預金				
投資有価証券				
合計	675,316,252		34,905,983	640,410,269

6. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

国庫補助金等特別積立金の取崩し

国庫補助金等特別積立金の対象となった固定資産の減価償却相当額の取崩し

24,679,625円

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産) 544,376,504円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金 11,200,000円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

固定資産の種類	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	1,408,115,470	767,705,201	640,410,269
建物	446,723,462	143,247,160	303,476,302
構築物	2,002,000	860,999	1,141,001
機械及び装置	96,564,230	51,100,381	45,463,849
車輛運搬具	58,324,686	43,034,566	15,290,118
器具及び備品	99,438,354	66,559,004	32,879,350
ソフトウェア	9,407,750	6,345,050	3,062,700
合計	2,120,575,952	1,078,852,361	1,041,723,589

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

債権の種類	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	103,151,279	0	103,151,279
未収補助金	0	0	0

1 0. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し

1 1. 関連当事者との取引の内容

該当無し

1 2. 重要な後発事象

該当無し

1 3. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

資金収支計算書 (自 平成30年4月1日～ 至 平成31年3月31日)

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A) - (B)	備考
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	677,458,000	673,029,044	4,428,956	
		施設介護料収入	339,800,000	334,698,384	5,101,616	
		居宅介護料収入	156,458,000	159,065,886	-2,607,886	
		(介護報酬収入)	137,891,000	141,379,765	-3,488,765	
		(利用者負担金収入)	18,567,000	17,686,121	880,879	
		日常生活支援総合事業費収益	12,734,000	12,348,169	385,831	
		(介護報酬収入)	12,734,000	12,321,169	412,831	
		(利用者負担金収入)	0	27,000	-27,000	
		居宅介護支援介護料収入	22,525,000	23,442,530	-917,530	
		利用者等利用料収入	103,190,000	103,116,074	73,926	
		その他の事業収入	6,439,000	6,299,023	139,977	
		地域密着型介護料収入	36,312,000	34,058,978	2,253,022	
		その他の事業収入	0	0	0	
		借入金利息補助金収入	40,000	16,207	23,793	
		経常経費寄附金収入	500,000	135,000	365,000	
		受取利息配当金収入	69,000	3,319	65,681	
		その他の収入	860,000	528,961	331,039	
		受入研修費収入	20,000	29,000	-9,000	
		利用者等外給食費収入	300,000	327,950	-27,950	
		雑収入	540,000	172,011	367,989	
		事業活動収入計(1)	678,927,000	673,712,531	5,214,469	
事業活動による収支	支出	人件費支出	445,699,000	433,593,324	12,105,676	
		役員報酬支出	1155,000	999,000	156,000	
		職員給料支出	280,543,000	269,292,736	11,250,264	
		職員賞与支出	65,000,000	62,955,126	2,044,874	
		非常勤職員給与支出	33,094,000	34,395,234	-1,301,234	
		退職給付支出	10,936,000	10,932,500	3,500	
		法定福利費支出	54,971,000	55,018,728	-47,728	
		事業費支出	80,611,000	82,018,336	-1,407,336	
		給食費支出	14,005,000	15,445,679	-1,440,679	
		介護用品費支出	8,730,000	12,126,458	-3,396,458	
		診療・療養等材料費支出	840,000	795,289	44,711	
		保健衛生費支出	2,330,000	1,994,189	335,811	
		医療費支出	60,000	0	60,000	
		被服費支出	120,000	60,588	59,412	
		教養娯楽費支出	1,720,000	1,243,456	476,544	
		水道光熱費支出	26,430,000	26,027,075	402,925	

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A) - (B)	備考
		燃料費支出	1,600,000	1,680,855	-80,855	
		消耗器具備品費支出	11,300,000	9,940,375	1,359,625	
		保険料支出	0	0	0	
		賃借料支出	3,526,000	3,401,399	124,601	
		教育指導費支出	1,200,000	1,186,000	14,000	
		車輛費支出	8,750,000	8,116,973	633,027	
		雑支出	0	0	0	
		その他の事業費支出	0	0	0	
		事務費支出	115,077,000	110,198,326	4,878,674	
		福利厚生費支出	2,310,000	2,649,867	-339,867	
		職員被服費支出	3,143,000	3,120,546	22,454	
		旅費交通費支出	1,850,000	785,820	1,064,180	
		研修研究費支出	460,000	439,550	20,450	
		事務消耗品費支出	1,270,000	1,155,088	114,912	
		印刷製本費支出	690,000	440,118	249,882	
		水道光熱費支出	0	0	0	
		燃料費支出	0	0	0	
		修繕費支出	6,760,000	3,340,151	3,419,849	
		通信運搬費支出	2,350,000	2,830,323	-480,323	
		会議費支出	250,000	0	250,000	
		広報費支出	452,000	260,212	191,788	
		業務委託費支出	71,076,000	70,042,600	1,033,400	
		手数料支出	850,000	659,815	190,185	
		保険料支出	2,401,000	3,510,314	-1,109,314	
		賃借料支出	12,373,000	12,546,286	-173,286	
		土地・建物賃借料支出	1,512,000	1,517,760	-5,760	
		租税公課支出	380,000	269,880	110,120	
		保守料支出	5,350,000	4,379,585	970,415	
		渉外費支出	390,000	524,950	-134,950	
		諸会費支出	680,000	689,200	-9,200	
		雑支出	530,000	1,036,261	-506,261	
		その他の事務費支出	0	0	0	
		利用者負担軽減額	340,000	400,341	-60,341	
		支払利息支出	823,000	352,800	470,200	
		その他の支出	0	0	0	
		事業活動支出計(2)	642,550,000	626,563,127	15,986,873	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	36,377,000	47,149,404	-10,772,404	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	
		施設整備等寄附金収入	0	0	0	
		設備資金借入金収入	0	0	0	
		固定資産売却収入	0	0	0	
		その他の施設整備等による収入	0	0	0	
		施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	11,200,000	11,200,000	0	
		固定資産取得支出	38,387,000	30,658,732	7,728,268	
		土地取得支出	0	0	0	
		建物取得支出	23,518,000	22,816,000	702,000	
		車輛運搬具取得支出	5,006,000	5,106,660	-100,660	
		器具及び備品取得支出	3,500,000	2,034,072	1,465,928	
		機械及び装置取得支出	3,050,000	0	3,050,000	
		その他の固定資産取得支出	3,313,000	702,000	2,611,000	
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
		その他の施設整備等による支出	0	0	0	
		施設整備等支出計(5)	49,587,000	41,858,732	7,728,268	
			施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-49,587,000	-41,858,732	-7,728,268

その他の活動による収支	収入	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A) - (B)	備考
		長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
長期運営資金借入金収入	0	0	0	0		
長期貸付金回収収入	0	0	0	0		
投資有価証券売却収入	0	0	0	0		
積立資産取崩収入	15,000,000	15,000,000	15,000,000	0		
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0		
長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	0		
施設拡充等積立資産取崩収入	15,000,000	15,000,000	15,000,000	0		
輪島市福祉会基金取崩収入	0	0	0	0		
その他の積立資産取崩収入	0	0	0	0		
事業区分間長期借入金収入	0	0	0	0		
拠点区分間長期借入金収入	0	0	0	0		
事業区分間長期貸付金回収収入	0	0	0	0		
拠点区分間長期貸付金回収収入	0	0	0	0		
事業区分間繰入金収入	0	0	0	0		
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0		
サービス区分間繰入金収入	24,800,000	24,800,000	24,800,000	0		
その他の活動による収入	0	0	0	0		
その他の活動による収入	0	0	0	0		
その他の活動収入計(7)	39,800,000	39,800,000	39,800,000	0		
支出	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	
	長期貸付金支出	0	0	0	0	
	投資有価証券取得支出	0	0	0	0	
	積立資産支出	0	0	0	0	
	事業区分間長期貸付金支出	0	0	0	0	
	拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	0	
	事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0	0	
	拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0	0	
	事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	
	拠点区分間繰入金支出	0	0	0	0	
	サービス区分間繰入金支出	24,800,000	24,800,000	24,800,000	0	
	その他の活動による支出	0	0	0	0	
	その他の活動支出計(8)	24,800,000	24,800,000	24,800,000	0	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	15,000,000	15,000,000	15,000,000	0	
予備費支出(10)	1,070,000	0	1,070,000			

当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	720,000	20,290,672	-19,570,672
前期末支払資金残高(12)	0	261,286,304	-261,286,304
当期末支払資金残高(11)+(12)	720,000	281,576,976	-280,856,976

### 事業活動計算書 (自 平成30年4月1日～ 至 平成31年3月31日)

サービス活動増減の部	収入	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
		介護保険事業収益	673,029,044	647,249,341	25,779,703	
施設介護料収益	334,698,384	317,888,518	16,809,866			
居宅介護料収益	159,065,886	194,304,606	-35,238,720			
(介護報酬収益)	141,379,765	172,636,613	-31,256,848			
(利用者負担金収益)	17,686,121	21,667,993	-3,981,872			
介護予防・日常生活支援総合事業費収益	12,348,169	0	12,348,169			
(介護報酬収益)	12,321,169	0	12,321,169			
(利用者負担金収益)	27,000	0	27,000			
居宅介護支援介護料収益	23,442,530	22,149,240	1,293,290			
利用者等利用料収益	103,116,074	105,031,772	-1,915,698			
その他の事業収益	6,299,023	7,875,205	-1,576,182			
地域密着型介護料収入	34,058,978	0	34,058,978			
老人福祉事業収益	0	0	0			

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
	児童福祉事業収益	0	0	0	
	保育事業収益	0	0	0	
	就労支援事業収益	0	0	0	
	障害福祉サービス等事業収益	0	0	0	
	生活保護事業収益	0	0	0	
	医療事業収益	0	0	0	
	その他の事業収益	0	0	0	
	経常経費寄附金収益	135,000	876,460	-741,460	
	その他の収益	0	0	0	
	サービス活動収益計(1)	673,164,044	648,125,801	25,038,243	
費用	人件費	433,593,324	438,517,612	-4,924,288	
	役員報酬	999,000	2,060,921	-1,061,921	
	職員給料	269,292,736	272,266,224	-2,973,488	
	職員賞与	62,955,126	68,868,017	-5,912,891	
	非常勤職員給与	34,395,234	33,834,723	560,511	
	派遣職員費	0	0	0	
	退職給付費用	10,932,500	9,572,500	1,360,000	
	法定福利費	55,018,728	51,915,227	3,103,501	
	事業費	82,018,336	77,930,196	4,088,140	
	給食費	15,445,679	14,852,749	592,930	
	介護用品費	12,126,458	10,588,680	1,537,778	
	医薬品費	0	0	0	
	診療・療養等材料費	795,289	753,094	42,195	
	保健衛生費	1,994,189	2,387,788	-393,599	
	医療費	0	0	0	
	被服費	60,588	115,154	-54,566	
	教養娯楽費	1,243,456	1,562,575	-319,119	
	日用品費	0	0	0	
	保育材料費	0	0	0	
	本人支給金	0	0	0	
	水道光熱費	26,027,075	23,818,927	2,208,148	
	燃料費	1,680,855	1,786,996	-106,141	
	消耗器具備品費	9,940,375	9,779,838	160,537	
	保険料	0	0	0	
	賃借料	3,401,399	3,389,607	11,792	
	教育指導費	1,186,000	1,021,000	165,000	
	就職支度費	0	0	0	
	葬祭費	0	0	0	
	車両費	8,116,973	7,873,788	243,185	
	雑費	0	0	0	
	その他の事業費	0	0	0	
	事務費	110,198,326	105,811,533	4,386,793	
	福利厚生費	2,649,867	2,249,436	400,431	
	職員被服費	3,120,546	334,762	2,785,784	
	旅費交通費	785,820	928,194	-142,374	
研修研究費	439,550	526,600	-87,050		
事務消耗品費	1,155,088	993,031	162,057		
印刷製本費	440,118	491,975	-51,857		
水道光熱費	0	0	0		
燃料費	0	0	0		
修繕費	3,340,151	7,255,688	-3,915,537		
通信運搬費	2,830,323	2,477,533	352,790		
会議費	0	141,310	-141,310		
広報費	260,212	280,615	-20,403		
業務委託費	70,042,600	70,881,578	-838,978		
手数料	659,815	680,176	-20,361		

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
		保険料	3,510,314	3,728,378	-218,064	
		賃借料	12,546,286	5,136,369	7,409,917	
		土地・建物賃借料	1,517,760	677,760	840,000	
		租税公課	269,880	478,362	-208,482	
		保守料	4,379,585	6,373,097	-1,993,512	
		渉外費	524,950	646,966	-122,016	
		諸会費	689,200	650,650	38,550	
		雑費	1,036,261	879,053	157,208	
		その他の事務費	0	0	0	
		就労支援事業費用	0	0	0	
		授産事業費用	0	0	0	
		利用者負担軽減額	400,341	354,657	45,684	
		減価償却費	80,946,601	77,037,552	3,909,049	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-24,679,625	-24,679,625	0	
		徴収不能額	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入	0	0	0	
		その他の費用	0	0	0	
		サービス活動費用計(2)	682,477,303	674,971,925	7,505,378	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-9,313,259	-26,846,124	17,532,865	
サービス活動増減の部	収益	借入金利息補助金収益	16,207	27,012	-10,805	
		受取利息配当金収益	3,319	3,403	-84	
		有価証券評価益	0	0	0	
		有価証券売却益	0	0	0	
		投資有価証券評価益	0	0	0	
		投資有価証券売却益	0	0	0	
		その他のサービス活動外収益	528,961	1,158,841	-629,880	
		受入研修費収益	29,000	0	29,000	
		利用者等外給食収益	327,950	585,530	-257,580	
		為替差益	0	0	0	
		雑収益	172,011	573,311	-401,300	
		サービス活動外収益計(4)	548,487	1,189,256	-640,769	
		費用	支払利息	352,800	588,000	-235,200
	有価証券評価損		0	0	0	
	有価証券売却損		0	0	0	
	投資有価証券評価損		0	0	0	
	投資有価証券売却損	0	0	0		
その他のサービス活動外費用	0	0	0			
サービス活動外費用計(5)	352,800	588,000	-235,200			
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	195,687	601,256	-405,569			
経常増減差額(7)=(3)+(6)			-9,117,572	-26,244,868	17,127,296	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	0	
		施設整備等寄附金収益	0	0	0	
		長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0	
		固定資産受贈額	0	0	0	
		固定資産売却益	0	0	0	
		事業区分間繰入金収益	0	0	0	
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0	
		事業区分間固定資産移管収益	0	0	0	
		拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0	
		その他の特別収益	24,800,000	35,800,000	-11,000,000	
		徴収不能引当金戻入益	0	0	0	
		サービス区分間繰入益	24,800,000	35,800,000	-11,000,000	
		過年度損益修正益	0	0	0	
	特別収益計(8)	24,800,000	35,800,000	-11,000,000		
費用	基本金組入額	0	0	0		
	資産評価損	0	0	0		

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
固定資産売却損・処分損		2	0	2	
建物売却損・処分損		0	0	0	
車輛運搬具売却損・処分損		2	0	2	
器具及び備品売却損・処分損		0	0	0	
機械及び装置売却損・処分損		0	0	0	
その他の固定資産売却損・処分損		0	0	0	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		0	0	0	
国庫補助金等特別積立金積立額		0	0	0	
災害損失		0	0	0	
事業区分間繰入金費用		0	0	0	
拠点区分間繰入金費用		0	0	0	
事業区分間固定資産移管費用		0	0	0	
拠点区分間固定資産移管費用		0	0	0	
その他の特別損失		24,800,000	35,800,000	-11,000,000	
サービス区分間繰入損失		24,800,000	35,800,000	-11,000,000	
特別費用計(9)		24,800,002	35,800,000	-10,999,998	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-2	0	-2	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-9,117,574	-26,244,868	17,127,294	
繰越活動増減差額の部					
前期末繰越活動増減差額(12)		733,989,246	740,234,114	-6,244,868	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		724,871,672	713,989,246	10,882,426	
基本金取崩額(14)		0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)		15,000,000	20,000,000	-5,000,000	
施設拡充等積立金取崩額		15,000,000	20,000,000	-5,000,000	
輪島市福祉会基金取崩額		0	0	0	
その他の積立金取崩額		0	0	0	
その他の積立金積立額(16)		0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		739,871,672	733,989,246	5,882,426	

## ■平成30年度のあゆみ

- 4月 1日 輪島市介護予防・日常生活支援総合事業(訪問介護相当サービス、通所介護相当サービス)の指定
- 4月 12日 輪島市との土地賃貸借契約締結(輪島市三井町小泉上野 2 番地外 面積 17,486.12 m<sup>2</sup>)
- 4月 12日 被爆者一般疾病医療を担当する機関の指定(あての木園デイサービスセンター)
- 5月 1日 堀町 9 字 25 番地にあての木園ふげし居宅介護支援事務所開設(輪島市指定),事業開始
- 7月 20日 第 8 期改修工事着手(三井町)
- 7月 21日 法人初の地域へ情報発信事業 輪島市福祉会フェアの開催
- 10月 31日 第 8 期改修工事完了(三井町)
- 12月 3日 あての木園デイサービスセンター浴室改修工事着手
- 12月 18日 あての木園デイサービスセンター浴室改修工事完了
- 2月 1日 穴水町介護予防・日常生活支援総合事業(訪問介護相当サービス)の指定

## ■2019(令和元)年度 事業計画

社会福祉法が社会福祉法人に対して求められているもの

- ①経営組織のガバナンスの強化
- ②事業運営の透明性の向上
- ③財務規律の強化
- ④地域における公益的な取り組みを実施する責務

輪島市福祉会が取り組むべき課題

- 法人理念の明確化
- 人材採用と人材確保、期待する職員像を明示し職員に浸透・共有を図る
- 働きやすく・働きがいを感じられる職場づくり
- 福祉機器の活用、ロボットやICT化による業務の効率化に取り組み職員の負担軽減を図る

中期計画

法人理念	中期計画	2019年（令和元年）度の活動計画	
尊厳	①プライバシーが守れる環境整備に取り組みます ②感染症対策や災害に強い施設を目指します ③生活に潤いある環境整備を図ります	①サテライト型ユニット型特養の検討(ユニット型の整備検討) ②福祉避難所としての役割、災害対応備品更新 ③特別養護老人ホーム、短期入所センターの設備更新	
	①様々な関係機関との連携を図りながら、地域の実情にあった福祉サービスを提供します ②輪島市内の社会福祉法人等との連携を図りながら、安心して住み続けられるような地域社会となるように協働して総合相談事業の継続をします。 ③地域密着型サービスや住まいの提供など検討します	①他法人との協働により福祉サービスの提供を検討 地域の困りごとに気づき、取組む姿勢 ②「しせつの窓口」による相談事業(福祉施設、介護事業所、福祉の専門職、医療の専門職をもっと知ってほしい)の継続 ③地域の方とまちづくりの検討(地域の方が集える場所の提供、在宅サービス事業所の再編検討)	
向上	居室	①利用者の自立支援、尊厳保持、生活の質向上 ②最期まで在宅生活が継続できるように他の関係機関と連携しながら支援します ③サービスの質の向上を図ります ④効率的かつ効果的なサービスの提供に取り組めます	①利用者の口腔ケアや栄養状態の改善 利用者の心身機能の維持・向上を図る 自立支援と重度化防止(予防と参加) ②在宅で最期まで生活できるよう支援の取り組み(医療連携) ③効率的かつ効果的なサービスの工夫(送迎、移動時間)
	施設	①自立支援介護を継続して取り組み、在宅復帰ができるよう支援します ②安らかで不安のない看取りケアに取り組めます ③他職種協働・情報共有・職種間連携・法令順守	①栄養管理、水分ケア、口腔ケア、排せつケア、移動動作訓練により、自立を高め適切な生活支援を受けられるよう施設などの紹介や退所に向けての支援に取り組む ②医療連携を図りながら、日常的ケアの延長として看取りケアを実践する ③常に自己点検を行い、差別の禁止、プライバシー保護、体罰等の禁止、人権尊重に取り組む
	人材	①法人理念の実現に向けた業務・研修・組織の見直しを行います ②適切な人材配置、人材育成に取り組めます ③働きやすい労働環境に取り組めます ④福祉機器や介護ロボットを積極的に導入・活用を図り重介護の軽減を図ります	①キャリアパスの共有化 ②ハローワーク、法人HP、就職面接会等を通して募集ワークライフバランスに応じた勤務体系の確立を図る 中核的人材の育成 ③介護や子育て支援 年次有給休暇の取得促進 腰痛予防対策 メンタルヘルス対策 ハラスメントを許さない職場風土づくり ④福祉機器の導入・活用 介護ロボットの導入検討

□特別養護老人ホーム(社会福祉事業)

中期計画	事業目標	介護	看護	栄養	歯科衛生士	支援専門員	生活相談員
①自立支援介護を継続して取り組み、在宅復帰ができるよう支援します	①栄養管理、水分ケア、口腔ケア、排せつケア、移動動作訓練により、自立を高め適切な生活支援を受けられるよう施設などの紹介や退所に向けての支援に取り組む	自立支援に向けてADL向上に繋がるケアの実施	自立支援に向けて医療サポート面の心身アセスメントに取り組む	利用者に合った食事形態提供し、身体維持・向上を図る	自立支援に向けて口腔内状況、口腔機能を把握し口腔環境を整える	自立支援に向けて本人のやる気を引きだせるようなケアプランの作成に取り組む	在宅復帰、他施設へスムーズに入所できるように居宅介護支援事業所との連携を図る
②安らかで不	②医療連携を図	多職種と	“その人	利用者の	最後まで	落ち着いた	嘱託医と

安のない看取りケアに取り組みます	りながら、日常的ケアの延長として看取りケアを実践する	連携し、ご本人が安心して最期を迎えられるような環境を提供する	らしさ”を尊重した看取りケアを行える様に他職種との連携を図り、日常生活から整える	食べたいものや食べられるものを提供する	安らかに過ごせることができる様、多職種と連携し口腔ケアに努める	た環境で過ごすことができるようケアの調整を行う	他職種と連携し、看取り期の家族理解に努める
③ 他職種協働・情報共有・職種間連携・法令順守	③常に自己点検を行い、差別の禁止、プライバシー保護、体罰等の禁止、人権尊重に取り組む	各会議を通して他職種と情報共有を行い連携に取り組む	・他者を尊重すると共に自己管理能力を養う ・他者に敬意を払う行動が取れる様心がけ、目標の方向性を統一して協働の為の努力をする	多職種協働し、利用者者に適切な食事提供を行う	多職種間との関係性を深め情報を共有しながら連携に取り組む	サービス担当者会議等を通して情報の共有を図り、各職種間の連携を図る	多職種の立場と人権を尊重し高め合える関係を構築し、目標の方向性を統一、協働できるように取り組む

□短期入所、通所介護、訪問介護、認知症対応型通所介護、在宅介護支援センター（社会福祉事業）

中期計画	事業目標	具体的取り組み内容				
		短期入所	通所介護	訪問介護	認知症対応型通所介護	在宅介護支援センター(三井町・堀町)
①利用者の自立支援、尊厳保持、生活の質向上	①利用者の口腔ケアや栄養状態の改善。利用者の心身機能の維持・向上を図る。自立支援と重度化防止(予防と参加)	利用者の心身の状況を把握し、自立支援を行う	利用者の思いを大切にしながら、今できていることの継続、更に日常生活にメリハリがつくよう支援する	・ニーズに応じたサービスの提供 ・自立支援により健康保持、重度化を防ぐ ・本人が自分でできる事を増やす支援	・日常的な動作も機能訓練とし支援する ・口腔ケアや嚥下体操で、誤嚥性肺炎の予防と、口腔機能の維持・向上を図る	専門職員と連携を図り、地域の方への生活を支援に取り組む
②最期まで在宅生活が継続できるように他の関係機関と連携しながら支援します	②在宅で最期まで生活できるように支援の取り組み(医療連携)	在宅生活を把握しその他の関係機関と連携し、在宅生活が維持できるよう取り組む	・関係機関との連携を密にする。 ・利用者や家族が相談しやすい環境づくり	・介護技術と相談援助能力向上のため研修会を通じてキャリアアップを図る。 ・医療連携で支える	・一人ひとりの身体機能に合わせた機能訓練でADLの維持・向上を図る ・医療機関等との連携で在宅の生活が送れるよう支援する	—
③サービスの質の向上を図ります	③常に自己点検を行い、差別の禁止、プライバシー保護、体罰等の禁止、人権尊重に取り組む	利用者、家族の意思を尊重し、要望に応じたサービスに取り組む	研修会等の参加や、話し合いの場を持ち、職員の意識の向上に努める	研修会等に参加し、サービス提供に活かす	研修や勉強会に積極的に参加し意識向上を図る	研修等に参加し、地域の方へ生活支援に取り組む ※石川県地

						域包括・在宅介護支援センター協議会に加入
④効率的かつ効果的なサービスの提供に取組みます	④効率的かつ効果的なサービスの工夫(送迎、移動時間)	サービス提供がスムーズに行えるよう、他の関係機関と連携し調整する	・利用者の状況に適した車輛の配置を行う ・速やかな乗降を行い移動時間の負担軽減に配慮する	・訪問は交替制で担当し、緊急時にも対応できる体制にする	・無理のない送迎サービスを提供する ・安全第一に走行及び車両の定期的な点検・整備を行う	地域の方への相談・生活支援に取り組む

□居宅介護支援、訪問入浴介護(公益事業)

中期計画	事業目標	具体的取り組み内容		
		あての木園居宅(三井町)	ふげし居宅(堀町)	訪問入浴介護
①利用者の自立支援、尊厳保持、生活の質向上	①利用者の口腔ケアや栄養状態の改善。利用者の心身機能の維持・向上を図る。自立支援と重度化防止(予防と参加)	利用者の居宅を訪問して、心身の状況や置かれている環境等を把握し、利用者の自立支援や生活の質が向上できるように居宅サービス計画を作成していく	利用者の心身・環境の現状を把握し機能低下や環境悪化予防のできるケアプランを提案し、自立した質の良い生活を支援する	・入浴時に利用者の心身の状態をよく観察し、家族・関係機関と連携をとりながら心身機能の維持・向上を図っていく ・自立支援を念頭に置いた介助、またご家族にアドバイスや提案なども行う
②最期まで在宅生活が継続できるように他の関係機関と連携しながら支援します	②在宅で最期まで生活できるよう支援の取り組み(医療連携)	医療機関の医師や看護師、MSW等やその他関係機関と心身の状況等についての情報を共有していき、状態に応じた援助を行う	利用者・家族の意思を尊重し、医療・その他機関の多職種が役割を明確化し支援する	開業医、市立輪島病院、訪問看護事業所等と連携を取りながら適切なサービスの提供を行う
③サービスの質の向上を図ります	③常に自己点検を行い、差別の禁止、プライバシー保護、体罰等の禁止、人権尊重に取り組む	・利用者の人権を尊重した援助ができるよう配慮する ・研修に参加し、新しい知識を得ることで、実際の援助に活用する	常に利用者の自尊心に配慮した対応を行い、支援者として研修参加等で自己研鑽する	・プライバシーに配慮したサービスの提供を行う ・関係機関との情報交換や研修会等で専門職としての質の向上を図る
④効率的かつ効果的なサービスの提供に取組みます	④効率的かつ効果的なサービスの工夫(送迎、移動時間)	相談業務や関係機関との連携を三井・河原田地区でも効果的に行う	関係機関との連携や相談業務も堀町にある利点を生かし、効率的・効果的に行う	広域(輪島市、穴水町)にサービスを提供しているため、一層効率的なサービス提供に取り組む

□配食サービス、介護予防・日常生活支援総合事業(公益事業)

中期計画	事業目標	具体的取り組み内容		
		配食サービス(三井町)	通所型サービスA(堀町)	通所型サービスC(三井町)
①利用者の自立支援、尊厳保持、生活の質向上	①利用者の口腔ケアや栄養状態の改善。利用者の心身機能の維持・向上を図る。自立支援と重度化防止(予防と参加)	栄養士と連携を図り、適切な食事提供を実施	適切な運動・生活支援に取り組み、心身機能の維持・改善を目指す	適切なトレーニングに取り組み、身体の向上に取り組む

②最期まで在宅生活が継続できるように他の関係機関と連携しながら支援します	②在宅で最期まで生活できるように支援の取り組み(医療連携)	—	—	—
③サービスの質の向上を図ります	③常に自己点検を行い、差別の禁止、プライバシー保護、体罰等の禁止、人権尊重に取り組む	地域の方へ適切な食事提供に取り組む	研修等に参加し、職員の質の向上に取り組む	専門関係者と連携し、適切なトレーニングに取り組む
④効率的かつ効果的なサービスの提供に取り組みます	④効率的かつ効果的なサービスの工夫(送迎、移動時間)	効率的な配食手順に取り組む	各地域の方に合わせて効率的な送迎・参加に取り組む	筋力向上が図れることに取り組む

□地域支援

中期計画	事業目標	しせつの窓口 (宅田町)	地域支援
①利用者の自立支援、尊厳保持、生活の質向上	①利用者の口腔ケアや栄養状態の改善。利用者の心身機能の維持・向上を図る。自立支援と重度化防止(予防と参加)	多職種連携を図ることで在宅生活支援に取り組みます。	・健康づくり教室・介護教室・映画上映会・認知症カフェ・運動器の機能訓練向上プログラム・趣味活動支援サービスの実施に取り組みながら在宅での生活を支援する ・専門職との連携を図りながら取り組む
②最期まで在宅生活が継続できるように他の関係機関と連携しながら支援します	②在宅で最期まで生活できるように支援の取り組み(医療連携)	—	—
③サービスの質の向上を図ります	③常に自己点検を行い、差別の禁止、プライバシー保護、体罰等の禁止、人権尊重に取り組む	相談者への尊厳を図り相談援助に取り組みます。	丁寧な対応に取り組む、サービスの質の向上に取り組む
④効率的かつ効果的なサービスの提供に取り組みます	④効率的かつ効果的なサービスの工夫(送迎、移動時間)	各法人と連携しながら継続的に実施できるよう取り組みます	継続できるように取り組み、地域の方を支援する

■社会福祉法人の法人間連携の取り組み

●「能登北部地域共生フォーラム～オール福祉関係者による住みよいまちづくりを考える～」



奥能登2市2町の社会福祉法人や民生委員の皆さんが集う「能登北部地域共生フォーラム～オール福祉関係者による住みよいまちづくりを考える～」が2月6日(水曜日)、輪島市三井町の石川県立生涯学習センター能登分室 講義室(能登空港ターミナルビル内)にて開催されました。主催は能登北部地域共生フォーラム実行委員会、当法人も実行委員として企画運営に携わることができました。

フォーラムは、ローカリズム・ラボ 代表 井岡 仁志氏が「ふだんのくらしのしあわせを誰もが感じられる地域に」と題した基調講演が行われました。今後加速していく人口減少や単身世帯の増加についての説明や、世代や分野を超え、地域住民や地域の多様な主体が参画し、地域共生社会の実現をめざす地域づくりの取り組みを学びました。

次に各地域の実践の取り組みの発表として、「社会福祉法人の協働による地域における公益的な取組」と題し、穴水町内社会福祉法人連絡会における福祉の出前講座の取り組み、買い物支援の取り組みや穴水福祉会における配食サービス、園児との会食などについて報告されました。また、社会福祉法人氷見市社会福祉協議会は「氷見市におけるセーフティネット構想の取り組み紹介」と題して社会的孤立者への支援強化としての取り組みを発表されました。



最後に、珠州市・輪島市・穴水町・能登町の4地域ごとに社会福祉法人の職員や民生委員の皆さんが5~7人のグループに別れ「基調講演、実践発表の取り組みについて少しでも参考にできるものはないのか、自分達の地域の状況や問題や少しでも住みやすいまちづくりにするためには等の意見交換を行いました。

フォーラムの最後して井岡氏、社会福祉法人穴水福祉会、社会福祉法人氷見市社会福祉協議会より地域の皆さんと社会福祉法人が力を合わせて地域の困りごとに取り組んでいくことが大切であるとまとめられました。今後も継続的にこのようなフォーラムを開催していく予定です。

●地区民生委員児童委員協議会と社会福祉法人連携のための懇談会



南志見地区民生委員児童委員協議会は2月4日(月曜日)に南志見公民館にて、町野地区民生委員児童委員協議会は2月7日(木曜日)に町野公民館にて輪島市内の社会福祉法人と懇談会が開催されました。参加した社会福祉法人は輪島市社会福祉協議会、寿福祉会、町野福祉会、輪島市福祉会の4法人です。障害者サービス、高齢者サービスの紹介、寿福祉会・町野福祉会の法人紹介と地区民児協議会の皆さんとの意見交換を行いました。

新たに4月に里町に開設予定の障害者就労移行支援サービス事業((株)奥能登元気プロジェクト)の紹介があり障害者福祉サービスの理解を深めました。

日ごろから地域の見守り活動をしている民生委員児童委員との意見交換では社会福祉法人にとっては貴重な意見でした。3月12日には三井地区民生委員児童委員協議会との懇談会も実施しました。

■特例入居(特別養護老人ホームへの入居)について ■■■■■■

●ご相談下さい

やむを得ない事情がある場合 要介護1又は2の方であっても施設入所ができます。

■要介護1又は2の要介護者であっても、認知症及び知的障害・精神障害等、深刻な虐待、家族等による支援が期待できない等の理由で特例的な施設への入居(以下「特例入居」という。)が認められています。

- ①認知症である者であって、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られること
- ②知的障害・精神障害等を伴い、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さ等が頻繁に見られること
- ③家族等による深刻な虐待が疑われること等により、心身の安全・安心の確保が困難であること
- ④単身世帯である、同居家族が高齢又は虚弱である等により家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が不十分であること

(参考)

指定介護老人福祉施設等の入所に関する指針について 厚生労働省より

指定介護老人福祉施設及び指定地域密着型介護老人福祉施設(以下「施設」という。)については、施設への入所の必要性の高い者の優先的な入所に努めるよう、「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準(平成11年厚生省令第39号)」第7条第2項及び「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準(平成18年厚生労働省令第34号)」第134条第2項で義務づけているところであるが、今般、介護保険法(平成9年法律第123号)第8条第21項の改正と、それに伴う介護保険法施行規則(平成11年厚生省令第36号)の改正により、平成27年4月1日以降の施設への入所が原則要介護3以上の方に限定される一方で、居宅において日常生活を営むことが困難なことについてやむを得ない事由があるこ

とによる要介護1又は2の方の特例的な施設への入所（以下「特例入所」という。）が認められる。これらの運用に当たっては、透明性及び公平性が求められるとともに、特例入所の運用については、市町村による適切な関与が求められる。

## ■事故報告の状況

※事故報告は保険者に報告した件数です

区分 年度	報告件数								
	合計	特別養護老人ホーム	短期入所センター	デイサービスセンター	訪問介護センター	訪問入浴介護センター	居宅介護支援事務所	在宅介護支援センター	認知症対応型通所介護
平成16	17	11	6	0	0	0	0	—	—
平成17	28	24	4	0	0	0	0	—	—
平成18	19	12	3	2	1	1	0	—	—
平成19	17	8	9	0	0	0	0	—	—
平成20	9	7	2	0	0	0	0	—	—
平成21	17	11	3	2	1	0	0	—	—
平成22	20	13	4	3	0	0	0	—	—
平成23	27	16	10	1	0	0	0	—	—
平成24	52	16	29	7	0	0	0	—	—
平成25	60	19	34	7	0	0	0	—	—
平成26	54	14	34	6	0	0	0	—	—
平成27	48	12	28	6	1	0	0	1	—
平成28	50	14	20	10	0	2	1	2	1
平成29	18	5	9	3	0	0	0	0	1
平成30	8	3	2	0	0	0	0	0	3

## ■苦情受付の状況(平成21年～平成30年)

区分 年度	苦情受付件数	苦情の内容(左記の内訳)					苦情の改善状況		
		ケアの内容に関する事項	職員の言動又は態度	個人の嗜好・選択に関すること	制度、施策、法律に関すること	その他	改善した	改善に向けて取り組み中	その他
平成21	26	16	2	0	0	8	24	2	0
平成22	12	3	0	0	0	9	11	1	0
平成23	25	9	1	0	0	15	24	1	0
平成24	23	11	2	0	0	10	23	0	0
平成25	12	7	3	1	0	1	11	0	1
平成26	12	4	5	2	0	1	12	0	0
平成27	30	14	3	0	0	13	30	0	0
平成28	24	2	5	3	0	14	24	0	0
平成29	21	7	3	2	0	9	20	0	1
平成30	5	1	3	0	0	1	5	0	0
合計	190	74	27	8	0	81	184	4	2



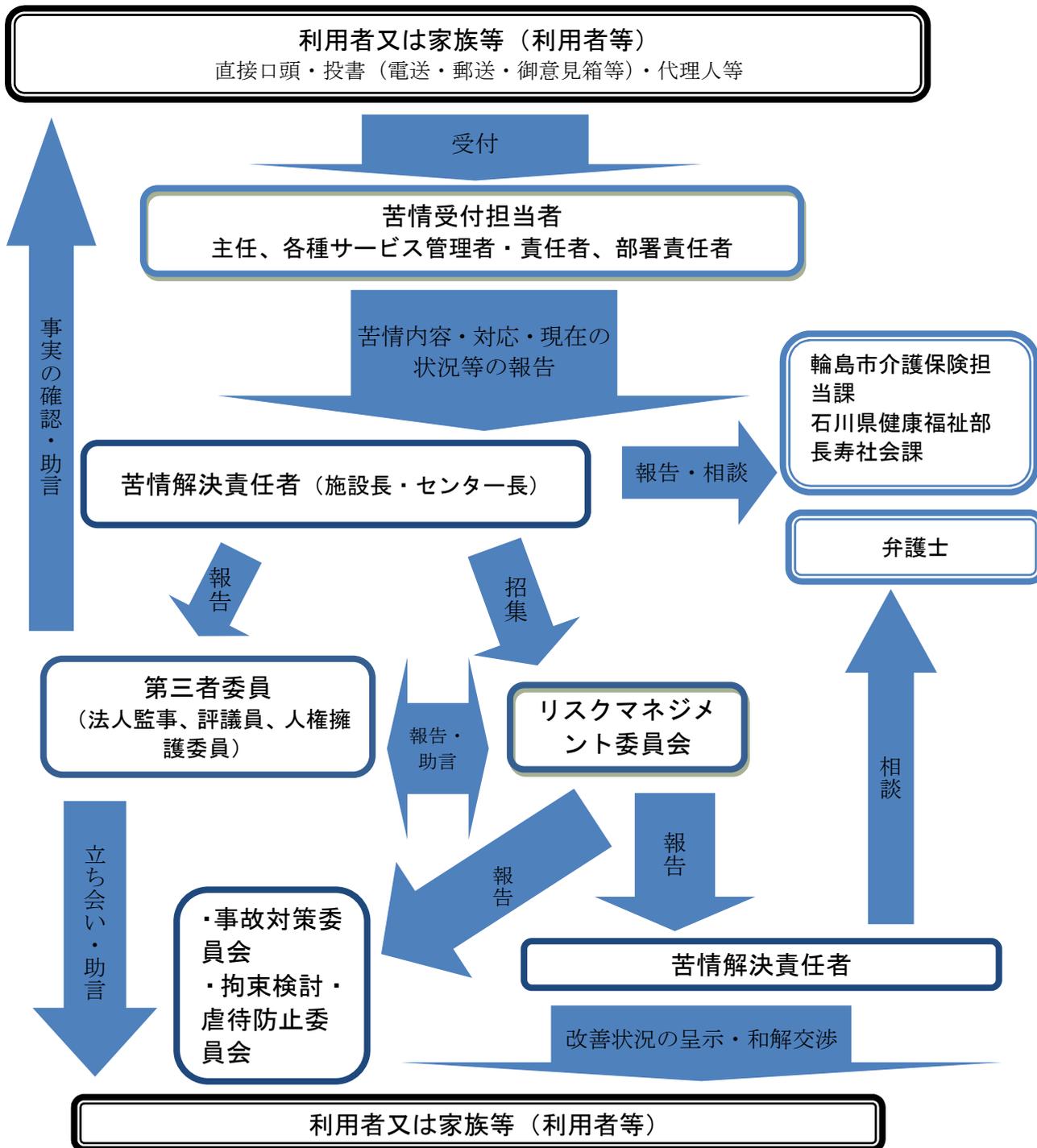
皆様のご意見やご要望をお寄せ下さい

## 虐待防止の取り組み

当法人においても、虐待行為が発生する可能性があります。職員で構成している「拘束検討・虐待防止委員会」を月1回開催し、職員の虐待防止に取り組んでいます。

■当施設で虐待が発生した場合は以下の内容で対応いたします

虐待発生時の対応フロー（身体的・精神的・経済的・性的虐待等）



## ボランティアをしてみませんか

特別養護老人ホーム、デイサービスセンターでボランティアをしてみませんか。以下のボランティアを募集しております。

- シーツ交換
- 施設内の清掃
- 洗面台の清掃
- 車いすの清掃
- 歩行器の清掃

- 利用者や入居者の話し相手
- お茶やジュース・コーヒーなどの飲み物の提供

- 施設外の除草
- 窓ふき
- 手すりやドアノブの清掃

- 趣味活動の指導
- サークル活動の発表
- 衣類やタオルたたみ
- その他 希望に応じて

## ■適切な介護サービス提供について(お願い) ■■■■■■■■■■

介護サービスを利用される皆さんや家族との信頼関係をもとに、安全安心な環境で質の高いケアを提供できるようにご協力をお願いいたします。

○職員に対する金品等の心付けはお断りしています

○ペットをゲージに入れる、リードにつなぐ等の協力をお願いします



大切なペットを守るため、また、職員が安全にケアを行うためにも、訪問活動中はリードをつけていただくか、ゲージや居室以外の部屋へ保護するなどの配慮をお願いします。職員がペットにかまれた場合、治療費等のご相談をさせていただきます場合があります

○暴言・暴力・ハラスメントは固くお断りします

職員へのハラスメント等により、サービスの中断や契約を解除する場合があります  
(契約を解除する場合の具体例)

暴力又は乱暴な言動

- ・物を投げつける
- ・刃物を向ける、服を引きちぎる、手を払いのける
- ・怒鳴る、奇声、大声を発する など

セクシャルハラスメント

- ・職員の体を触る、手を握る
- ・腕を引っ張り抱きしめる
- ・女性のヌード写真を見せる など

その他

- ・職員の自宅の住所や電話番号を何度も聞く
- ・ストーカー行為
- ・特定の職員に嫌がらせをする など



安心して適切なケアが提供できるよう、ご協力お願いいたします

## ■市立輪島病院と介護保険施設の医療連携会議 ■■■■■■■■■■

市立輪島病院にて、輪島市内近隣の介護保険施設の医師及び管理者・専門職、能登北部医師会長、市立輪島病院の院長・副院長・医師・看護師長・地域医療連携室・事務部長・輪島市地域包括支援センター・輪島市健康推進課の皆さんが一堂に会し、1年に1回の施設と病院の連携について話し合っています。

このような会議を通しながら、病院と介護保険施設の情報共有や連携を図り、より質の高い医療・介護サービスの提供を目指しております。平成30年度は介護保険施設から市立輪島病院への要望について意見交換がされ、令和元年度は市立輪島病院から介護保険施設に対しての要望について意見交換が行われました。

●介護保険施設の役割の一覧についてご紹介します

施設名	恵寿鳩ヶ丘	百寿苑	あての木園	ゆきわりそう	第2ゆきわりそう	みやび	福祉の杜	輪島荘	あかかみ
区分	介護医療院	老人保健施設	従来型特養(広域型)	ユニット型特養	ユニット型地域密着型特養	ユニット型特養	地域密着型特養	ユニット型地域密着型特養	従来型特養(広域型)
概要(1)	要介護者の長期療養・生活施設	要介護者にリハビリ等を提供し、在宅復帰を目指す施設	要介護者のための生活施設						
			入所定員が31人以上で従来型個室・多床室	入所定員が31人以上でユニット型(共同スペースと個室)	入所定員が29人以下でユニット型(共同スペースと個室)	入所定員が31人以上でユニット型(共同スペースと個室)	入所定員が29人以下で多床室	入所定員が29人以下でユニット型(共同スペースと個室)	入所定員が31人以上で従来型個室・多床室
設置根拠	介護保険法			老人福祉法					

# ■善意のご寄付者、ご寄贈者

- 真宗大谷派能登教区第七組 様 ○輪島市立三井小学校 様 ○平 幸子 様
- 中谷 良雄 様 ○J Aおおぞら女性組織協議会 様 ○旭岡琢也 様 ○福光 明 様
- 尾家 幸夫 様 ○浅野 義夫 様

# ■職員募集(令和2年4月1日採用含む)

★高齢化率40%を超えた地域の皆さんの生活を支えるために……

★地域のために皆さんの知識や技術を発揮しませんか

働きながら資格を取得するための助成制度や研修制度もあります



- 年齢は60歳未満 ●学歴は不問 ●採用時期は随時
- 介護職員(無資格でも応募可能です)……………5名募集
- 看護師及び准看護師……………2名募集
- 機能訓練指導員(理学療法士又は作業療法士)……………2名募集



- 年齢は不問 ●学歴は不問 ●採用時期は随時
- 勤務時間についての相談に応じます
- 介護職員(登録ヘルパーも含む)(無資格でも応募可能です)……………4名募集
- 看護師及び准看護師……………2名募集
- 機能訓練指導員(理学療法士又は作業療法士)……………2名募集

■□詳しい内容やお問い合わせ先は□■  
☎(0768)26-1661 まで

## 理念

「尊厳」「共生」「向上」

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、地域社会と共に自立した生活を営むことができるように支援します。

私たちは、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図ります。

法人の基本方針

1. 超高齢化が進むなか、高齢者を取り巻く環境の変化、介護保険制度を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、当法人の役職員が社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、介護者としての本旨にたちかえり高齢者福祉の進展に寄与します。
2. 地域の方々の社会福祉支援を目的に、誠心誠意のサービスに努めます。
3. 個人の尊厳を保持しつつ、介護サービスが「いつでも・どこでも・だれでも」利用できるよう努めます。
4. すべての役職員は、倫理・理念を遵守し、専門性を高め、地域の一員として社会福祉の充実を目指します。

## 社会福祉法人輪島市福社会 本部

〒929-2378 石川県輪島市三井町小泉上野2番地

電話 (0768)26-1661 ファックス(0768)26-1751 メール [atenoki@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:atenoki@skyblue.ocn.ne.jp)

HP <http://www.amusewajima.gr.jp/atenokien/>